殿ヶ谷の丘

令和４年７月２０日
横浜市立飯島中学校

「夏の夜は」

副校長 真田 隆広

「夏の夜は まだ宵（よい）ながら 明けぬるを 雲のいづこに 月やどるらむ」

この句は百人一首の36番、「清原深養父（きよはらのふかやぶ）」という人が詠んだ句です。「夏の夜はとっても短いので、まだ夜と思っていたらもう明けてしまった。月はいったい雲のどこで休んでいるのだろう。」という意味の句で、短い夏の夜を表現した句です。

いよいよ夏休みがスタートします。皆さんはどんな夏休みを予定しているのでしょうか。39日間の夏休みが、あっという間に終わるのでしょうか、それとも長い夏休みになるのでしょうか。学年でそれぞれ過ごし方も違うのかもしれませんが、いずれにしても充実した有意義な夏休みになるといいですね。私はみなさんの夏休みに何か「新発見」があるといいなと思っています。「新発見」は新しい自分を見つけ、これからの自分を作っていく成長材料になったりもします。

私は４月に飯島中学校に赴任して、グリーンボランティアの柳さんと出会いました。皆さんも校内でよく会うと思いますが、柳さんは飯島中の花壇の花や畑の野菜の世話をしてくれています。私は柳さんに植物や野菜の育て方を色々と教わり、自宅でベランダ菜園をするようになりました。今まで植物や野菜を育てることにさほど興味をもっていなかった自分にとって、「新発見」になっています。

話は戻りますが、実はこの「清原深養父（きよはらのふかやぶ）」という人、2年生が１学期に学習した枕草子の作者「清少納言（せいしょうなごん）」の曽祖父（ひいおじいちゃん）にあたる人なのです。この人の孫、つまり清少納言の父にあたる「清原元輔（きよはらのもとすけ）」という人も百人一首を詠んでいます。ということは・・・「清少納言」の苗字は「清原さん」であることがわかりますね。（「少納言」とは役職名です。）「清原さん」という苗字であることがわかるとなんとなく身近に感じてしまいませんか？ちなみに百人一首にある「夜をこめて 鳥のそら音は はかるとも 世に逢坂（おおさか）の 関はゆるさじ」という句は「清少納言」が詠んだ句です。

ただなんとなく百人一首が好きで読んでいただけなのに、清少納言の苗字や家族関係がわかるという「新発見」、私は清少納言が「清原さん」と知ってますます百人一首が好きになりました。そんなちょっとした「新発見」が自分の世界を広げてくれたりしています。

ぜひ夏休みの間に皆さんが「新発見」に出会えることを期待しています。よい夏休みをお過ごしください。

栄区　よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト

6月28日（火）に「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」が行われました。栄区の各中学校から代表者1名が参加し、国際平和に関する自分の考えをスピーチしました。本校からは3年生の中島璃子さんが「助けられた命にするために」というタイトルでスピーチを行いました。全体のトップバッターでのスピーチでとても緊張したそうですが、立派にスピーチを行い、自分の考えをしっかりと伝えることができました。

「助けられた命にするために」

中島　璃子

約 6 秒間に 1 人、世界のどこかで幼い命が失われている。衝撃的だった。今、こうして私が話している間にも世界のどこかで幼い命が失われている。私はこの現状を知ったとき、変えなければならないと思った。

世界には年間約 520 万人の子供たちが、5 歳の誕生日を迎える前に亡くなっている。その問題点として挙げられるのは、ワクチンの接種率だ。

サハラ以南のアフリカ地域では、特に接種率が低く、2人に1人の子供が病気になっても治療を受けることができない。つまり、病気になっても医者に診てもらえるとは限らないということだ。そこで必要となってくるのがワクチンだ。しかし、中にはワクチンに対して恐怖心を抱いている人もいる。私もその一人だ。今現在、新型コロナウイルスが流行し、ワクチンが重要視されている世の中、副反応が怖いなどを理由に受けない人もいるだろう。

そこでさらに重要になってくるのは接種者からの情報だ。SNS と共に生きている今、接種後の状態を発信することによって、こんな状態になるかもしれないと事前に知ることができ、また反応が出たときの対応が速やかにできる。また、このように情報を発信できない場合には、私たちが直接ワクチンの必要性や副反応などを詳しく伝えなければならない。そうすることによって、受けてみようと行動してくれる人たちが増えるのではないかと思う。

そのためにも、情報の発信や、国からの支援が必要になってくるのだ。こうした状況を変えられるのはワクチンだけじゃない。妊産婦と乳幼児の健康状態が一目でわかる日本発祥の「母子健康手帳」などもその一つだ。

これらを世界に広めることで子供たちを少しでも救うことができるのではないか。私も将来、直接現地へ行ってワクチンの必要性や母子健康手帳を広める活動がしたい。

そうした行動によって、助けられたはずの命という悲劇を少しでも止めることができると思う。生まれる環境は誰にも選ぶことができない。

しかし、他国が助け合い支援することで、子供たちの未来を作ることができる。そんな子供たちの命を私たちの取り組みですべて助けられた命に必ずしたい。なぜなら、命は世界で一番大切なものなのだから。

球技大会が行われました！！

6月30日（木）に2年生、7月1日（金）に3年生で球技大会が行われました。両日ともうだるような暑さで、熱中症が心配される中でしたが、みんな暑さに負けず、新しいクラスになって初めての球技大会を楽しみました。2年生はグラウンドでサッカー、体育館でバスケットボールを行い、3年生はグラウンドでドッジボール、体育館でバレーボールを行いました。2年生は3組が優勝、3年生は2組が優勝しました。みんな暑い中お疲れさまでした。

2年生

グラウンドでサッカー

テントで熱中症対策

体育館でバスケットボール

3年生

体育館でバレーボール

ナイスサーブ！

グラウンドでドッジボール

ユニセフ募金

7月4日(月)～8日（金）朝、厚生福祉委員が昇降口の中で、登校する生徒たちにユニセフ募金への協力を呼びかけました。この1週間で総額 14、888 円が集まり日本ユニセフ協会に寄付しました。募金されたお金は世界中の途上国や貧困に苦しむ子どもたちが住む国や地域で子どもたちが安全で安心して生活ができるために使われます。

募金に協力してくれた生徒の皆さん、朝早くから募金活動を行ってくれた厚生福祉委員の皆さん、本当にありがとうございました。

県大会出場　おめでとう！！

熱戦が繰り広げられている、総合体育大会やコンクール。これまで一生懸命に取り組んでいた成果を発揮する大舞台が各地で開かれています。3年生が引退となった部もいくつかあります。今まで頑張ってきた皆さん、お疲れさまでした。これから試合やコンクールを控えている部もあります。みなさん頑張ってください。その中でも見事に県大会進出を果たした部もあります。県大会は7月28日（木）から行われます。県大会での活躍も期待しています。頑張ってください！

県大会に進出した部・選手

- ○ 柔道部【男子個人戦】3年 藤末 統弥さん
- ○ 柔道部【男子団体戦】
  3年 藤末 統弥さん・2年 御園生和輝さん・2年 小坂　龍介さん
  2年 横田 修大さん・2年 金子　悠陽さん・2年 福田響志郎さん

学校閉庁日のお知らせ

本校では、夏季休業中の8月8日（月）～8月12日（金）の5日間を学校閉庁日といたします。この期間中は原則として、部活動や学年・学級の活動は行わず、当番職員の配置もありません。ご理解くださいますようよろしくお願いいたします。問い合わせなどは学校閉庁日以外にお願いいたします。

夏季休業期間中の健康観察のお願い

夏季休業中につきましても、ご家庭で丁寧な健康観察をお願いいたします。

・毎日の検温をお願いいたします。

・新型コロナウイルスに感染した場合は学校までご連絡ください。【☎894-2901】
（※土日祝日・学校閉庁期間を除く）

８月・９月　行事予定

８月２９日（月）始業式・教育相談
８月３０日（火）あいさつ運動・教育相談
８月３１日（水）教育相談
９月　１日（木）防災訓練
９月　２日（金）栄区横浜子ども会議
　　教育相談
９月　５日（月）専門委員会
９月　６日（火）あいさつ運動
　　体育祭学年練習
９月　８日（木）体育祭予行練習

９月１３日（火）第４２回体育祭
９月２０日（火）あいさつ運動
　　専門委員会
９月２１日（水）生徒評議会
９月２２日（木）校内高校等説明会
　　第２回３年保護者進路学習会
９月２７日（火）２学期中間テスト
　～２８日（水）
９月３０日（木）３年生英語検定